

特集

新たな財務目標と目標達成に向けた経営の力点について

当社は、東日本大震災で受けた甚大な設備被害の復旧を果たし、大きく傷ついた経営基盤も最大限の経営効率化などにより回復の道を歩みつつあります。

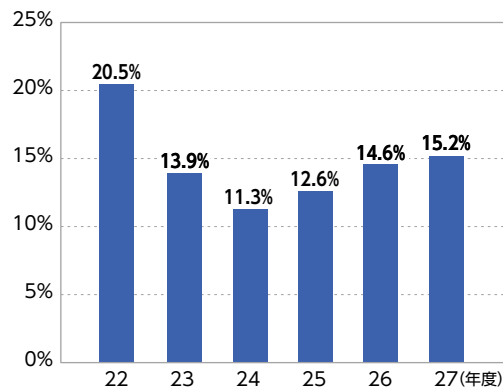
一方、競争が進展する中で、当社が、競争に打ち勝ち、事業をより発展させていくためには、経営基盤を回復させるとともに、事業環境の変化や自然災害などの事業リスクへの対応力を強化していく必要があります。

このため当社は、今年1月に、新たに「2020年度までに自己資本比率（連結ベース）25%以上」との財務目標を掲げました。また、将来的には30%を目指してまいります。

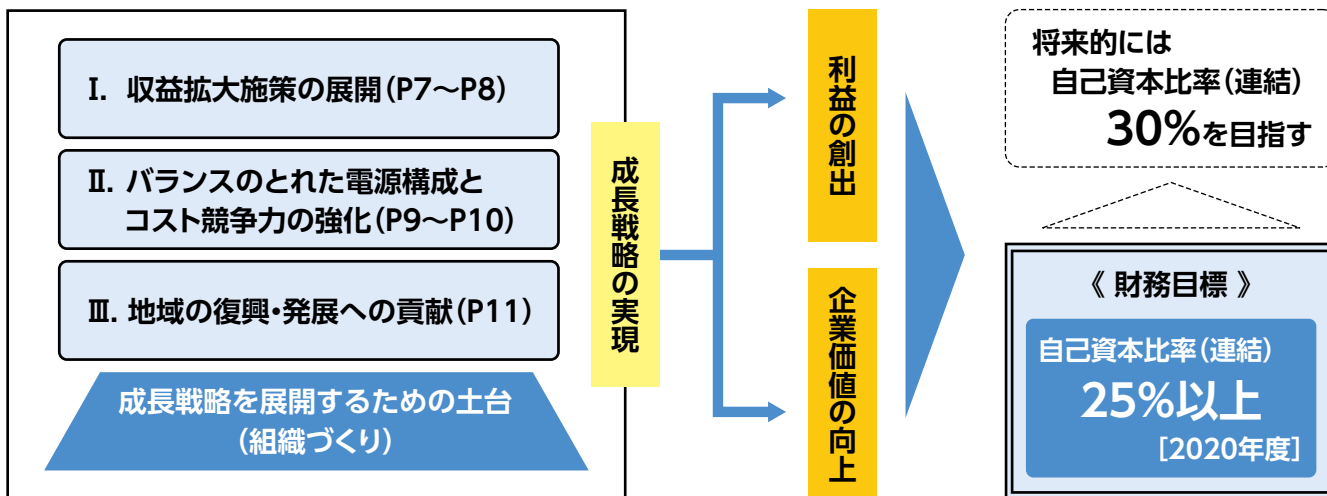
当社は、この新たな財務目標の達成に向けて、「Ⅰ. 収益拡大施策の展開」、「Ⅱ. バランスのとれた電源構成とコスト競争力の強化」、「Ⅲ. 地域の復興・発展への貢献」を3つの柱として、コーポレートスローガン「より、そう、ちから。」のもと、企業グループが一体となって各施策を確実に実施することで、さらなる成長を果たしてまいります。

コーポレートスローガン「より、そう、ちから。」

■自己資本比率（連結）の推移



《成長に向けた3つの柱》



I. 収益拡大施策の展開

当社は、全面自由化の競争時代にあっても、東北6県および新潟県のお客さまを大切に、当社を選択いただくことが、収益の源泉であり、競争に打ち勝つ原動力であると考えております。この基本的な考え方のもと、お客さまのご要望に“より沿う”サービスを提供してまいります。また、今回の事業環境の変化を新たな収益機会と捉え、アライアンス等を活用した域外供給による収益拡大にも積極的に取り組んでまいります。

お客さまのご要望に“より沿う”サービスの提供

電気を上手に活用した、もっと豊かな毎日を、より多くのお客さまにお届けするために、当社は3つの新料金プラン「よりそうプラスシーズン&タイム」、「よりそうプラスナイト12」、「よりそうプラスナイト&ホリデー」をご用意いたしました。

あわせて、便利でお得な会員制 Web サービス「よりそう e ネット」をオープンし、ポイントサービス「よりそう e ポイント」の提供を始めました。引き続き、お客さまのニーズにかなう、サービスの開発・充実に取り組むとともに、省エネルギーに優れたヒートポンプ機器の推奨などによる電化を推進してまいります。

《これからの暮らしに3つのプラス》



よりそう e ネット

ena! ①

Webで料金がすぐわかる!

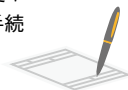
毎月の電気料金やご使用量をパソコン・スマートフォンで簡単にチェック!



ena! ②

各種お手続きがかんたんに!

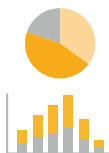
料金プランの変更やお引越しの際の手続きがWebで簡単に!



ena! ③

最適な料金プランがわかる!

お客さまのライフスタイルにあった料金プランを診断!



ena! ④

「よりそう e ポイント」がたまる!

貯まったポイントは各種商品や共通ポイントと交換!



よりそう e ポイント

- 東北6県と新潟県のご当地商品と交換!
- 復興支援・地域の活性化のために寄付!



- 各種電子マネー、共通ポイントと交換!
- 商品券、ギフト券と交換!

※写真はイメージです

これまでの供給エリアを越えた新たな事業展開

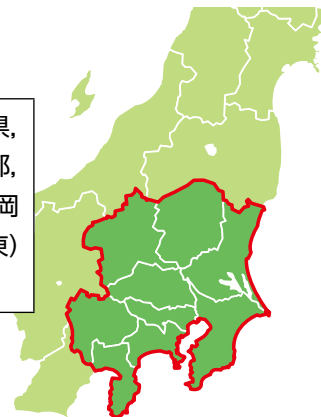
首都圏のご家庭向け電気料金プラン「よりそう、でんき」

当社は、今年4月、首都圏においてご家庭向け料金プラン「よりそう、でんき」による電気の販売を開始いたしました。

今回ご用意したプランは、現在の契約電流が30A以上で、毎月の電気ご使用量が標準的なご家庭（300kWh程度）などのお客さまの場合、東京電力エナジーパートナーの従量電灯B契約での電気料金よりもお得にご利用いただけるプランであり、首都圏にお住まいのお客さまにも、当社の電気やお得なサービスをご利用いただきたいと考えております。

■対象地域

栃木県、群馬県、茨城県、
埼玉県、千葉県、東京都、
神奈川県、山梨県、静岡県
の一部（富士川以東）
※ 離島は除く



新会社「株式会社シナジアパワー」による関東圏への電力販売

東京ガス株式会社と共同で設立した株式会社シナジアパワーは、今年4月より北関東を中心とする関東圏の高圧・特別高圧のお客さまへの電力販売を開始いたしました。

当社および東京ガス株式会社が有する事業ノウハウと競争力のある電源、販売チャンネルを最大限活用して、当社の収益拡大をはかるものであります。



■会社概要

本店所在地	東京都
設立日	平成27年10月1日
供給開始	平成28年4月

新料金プラン・新サービスのお申し込み・お問い合わせについて

**新料金プラン・新サービスの
詳細、お申し込みは
ホームページから!**

東北電力

検索

ご不明な点は東北電力コールセンターまで!

 **0120-175-028**

受付時間

月曜日～金曜日 9:00～17:00

※ 祝日、年末年始（12/29～1/3）を除く

II. バランスのとれた電源構成とコスト競争力の強化

当社は、安全確保を大前提に、安定供給、経済効率性、環境適合の観点から、バランスのとれた電源構成を目指すとともに、経費全般にわたる効率化の推進によるコスト競争力の一層の強化をはかってまいります。

原子力発電所の再稼働に向けた取り組み

女川、東通原子力発電所の新規規制基準適合性審査への的確な対応、ならびに設備・運用面におけるさらなる安全性向上に取り組んでまいります。また、国や自治体と連携した原子力防災体制の強化、広報誌や訪問対話活動などを通じた適切な情報発信や双方向のコミュニケーションに努めてまいります。



海拔約 29m の防潮堤かさ上げ工事
(女川原子力発電所)



地域のみなさまへの全戸訪問対話活動
(東通原子力発電所)

戦略的な電源構成 ～高効率火力発電設備の開発～

火力発電については、戦略的な電源構成の実現に向け、新仙台3号系列、能代3号機、上越1号機などコスト競争力に優れた高効率火力発電設備の着実な開発に取り組んでまいります。

	新仙台3号系列	能代3号機	上越1号機
出力	98万 kW※	60万 kW	57.2万 kW
燃料	LNG	石炭	LNG
熱効率 (低位発熱量基準)	60.0%以上	44.8%	60.0%以上 (設計中)
運転開始 (予定)	平成28年7月 3-2号(半量)	平成32年6月	平成35年6月

※ 新仙台3号系列の3-1号(半量)は、平成27年12月に運転開始済



世界最高水準の熱効率を達成した
新仙台火力発電所
3号系列

能代火力発電所
3号機完成予想図
(平成28年1月着工)



能代火力発電所3号機

再生可能エネルギーの導入拡大に向けた取り組み

当社は、国内最多の水力発電所を運用するほか、地熱発電・風力発電・太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入拡大を進めています。

昨年7月には、企業グループにおける再生可能エネルギー事業の再編・統合により、東北自然エネルギー株式会社（発電所26か所、出力合計約15万kW）を設立し、同事業の一層の推進に向けた体制を強化いたしました。

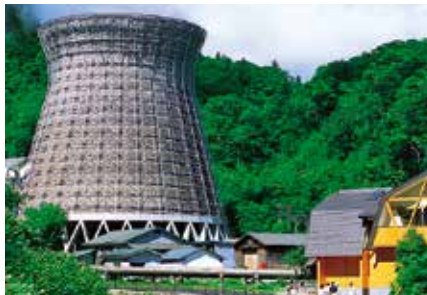
引き続き、東北地域に適地の多い再生可能エネルギーの有効活用をはかってまいります。



昨年1月に営業運転を開始した
原町太陽光発電所（福島県南相馬市）



今年5月に営業運転を開始した津軽発電所
（青森県中津軽郡）



日本最初の商業用地熱発電所である
松川地熱発電所（岩手県八幡平市）



本州初のウインドファーム（集合型風力発電所）である能代風力発電所（秋田県能代市）

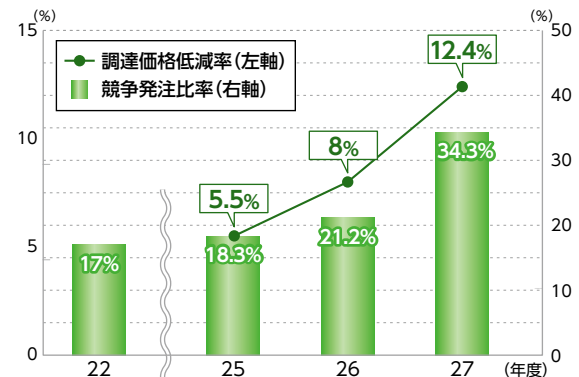
資材・役務調達における調達改革の推進

当社は、構造的なコスト低減の一環として、平成25年に経営層をトップとする「調達改革委員会」を設置し、「調達価格10%低減」および「平成27年度末までに競争発注比率を3割程度まで拡大」という目標を掲げ、達成に向けて取り組んでまいりました。

平成27年度実績は、調達価格低減率が12.4%、競争発注比率が34.3%となり、目標を達成いたしました。

今後も引き続き同委員会による取り組みを継続し、効率化の深掘りに努めてまいります。

■調達価格低減率と競争発注比率の実績

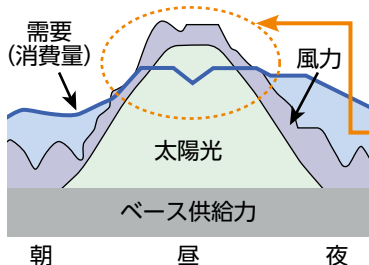


当社は、地域の復興・発展に向けて、電力の安定供給という基本的な使命を果たすとともに、エネルギーサービスや地域活性化などについて、これまで以上に地域に“寄り添う”取り組みを展開してまいります。

南相馬変電所大容量蓄電池システムの営業運転開始

当社は、今年2月、南相馬変電所に設置した大容量蓄電池システム（出力4万kW、容量4万kWh）の営業運転を開始いたしました。本システムは、福島県における再生可能エネルギーの導入拡大に向け、経済産業省の補助事業である「大容量蓄電システム需給バランス改善実証事業」により、平成27年5月から設置工事を進めていたものです。本システムによる再生可能エネルギーの導入拡大効果は、福島県の避難解除区域における太陽光発電事業者へ優先的に割り当てることとしております。

■需要と供給の関係



再生可能エネルギーの供給が多く、「電力の供給が需要を上回る」と想定される時間に、蓄電池への充電を実施（需要が高まる時間帯などに放電）。



南相馬変電所大容量蓄電池システムの全景（設置面積約8,500㎡）

復興支援活動・地域協調活動

当社は、「地域社会との共栄」を経営理念として掲げ、創立以来、地域に密着した経営を進めてきました。この想いを変わらずに守り、地域のみなさまとともに復興への歩みを続けます。



東北電力スクールコンサート



東北電力旗ミニバスケットボール大会



企業グループによる海岸防災林復活活動